

平成23年  
第3回市議会（定例会）  
会期9月5日～9月29日

会期中に、補正予算案2件（原案可決）、契約案3件（原案可決）、条例案2件（原案可決）、決議案4件（原案可決）、人事同意案等12件（原案同意・当選決定）、推薦1件、認定3件（認定）、請願1件（採択）、意見書1件、報告2件の議案審議をしました。

総務文教委員会に  
付託された議案

●平成23年度大竹市一般会計補  
正予算（第1号）

4千538万2千円増額

Q 地域公共交通の整備状況について問う。

A 公共交通の支線の状況は、玖波7丁目から「ひまわりタクシー」という名称で実証運行を始めている。三ツ石町における乗合タクシーは1ヶ月100人を超えて利用している状況である。市では、幹線バスに接続するような支線交通を考

えており、小島地区、玖波8丁目、湯舟地区が現在検討中で、他地区でも要望があれば一緒に考えていきたい。

Q 中型バスの必要性と座席数が減少することの認識について問う。

A 「こいこいバス」は、便によっては1桁台の乗車の時もあるが、新しいバス車両を導入するとかなり目立つので乗車も増え、各支線交通が整備されると、それからの乗り継ぎ、西医療センター、ゆめタウンへ行かれる方も増えると思える。

新型車両はバリアフリー法に適合したものとなるため座席数が少なくなり、市民の方にはご迷惑をかけるが、席を譲り合うという社会的マナーが勉強できると思える。



こいこいバス イメージ

Q 災害時要援護者台帳システムをどのように活かすか問う。

A 予定として、本庁や消防、社会福祉協議会など5カ所にパソコンを設置し、リアルタイムで情報管理をしながら、行方不明者、高齢者、家庭訪問などの情報を他部署と共有できるものとした。

Q 危険物保安技術協会検査委託料の検査対象の設置場所と危険物タンクの設置場所について市民に周知する考えはないか問う。

A 検査対象の危険物タンクは、ダイセル化学工業の新工場に新設される2基の検査手数料である。市内には特定タンク37基、準特定タンク34基がある。

周知については、岩国大竹石油コンビナート等防災計画の見直しの中で詳しく調査をし、各種災害を想定した避難等の修正が生じてくると思われる。

※採決の結果 原案どおり可決

●工事請負契約の締結について  
（小方小・中学校建設工事  
建築主体工事）

●工事請負契約の締結について  
（小方小・中学校建設工事  
機械設備工事）

●工事請負契約の締結について  
（小方小・中学校建設工事  
電気設備工事）

Q 低入札が続いているが、追加工事に伴う増額補正はないか問う。

A 設計業務委託での岩盤地盤調査、造成時の地質等考慮し、建築工事の設計をしている。大きな増額補正はないと考える。

Q 工事で大型車両が通行する。住民への配慮が必要だが、契約で搬入ルート指定等しているのか問う。

A 三ツ石側から車両の進入を計画している。来年度は、青木線側からも車両が進入するようになるが、地元説明会等を行いながら、付近の安全を第一に、第三者災害が起こらな

いよう業者からの施工計画の提出を経て施工となるようにしている。

**Q** 予定価格と落札価格に大きな開きがあるが、予定価格のあり方について問う。

**A** 設計書は、国土交通省から出される公共建築工事の設計基準等を使い積算している。企業は、経済情勢が厳しい中、仕事を取るため入札してきており、その意欲の表れだと考えている。

**Q** 市内業者を育成するための方策を問う。

**A** 市内発注という姿勢で、工事を分割しており、本体、電気、機械とし、受注機会を保つという前提で、建物も条件付一般競争入札とし、市内業者が参画できる場をつくるようにした。機械、電気についても公募型指名競争とした。契約する企業に対して、市内業者を下請けに入れてもらうようお願いしながらやっていきたい。

**【反対討論】**

「住宅地の開発が見通せない現在において賛成できない。」

**【賛成討論】**

「第五次大竹市総合計画を認定した責任からも小中一貫校、連携教育の推進を進めていく。」

※採決の結果 原案どおり可決

●平成23年度大竹市一般会計補正予算(第2号)

2億5千973万7千円減額  
(小方小・中学校建設工事請負契約の締結に伴う減額補正)

**【反対討論】**

「工事請負契約の締結の補正予算であるため反対する。」

※採決の結果 原案どおり可決



●工事請負契約の締結について  
(小方小・中学校建設工事  
建築主体工事)

●工事請負契約の締結について  
(小方小・中学校建設工事  
機械設備工事)

●工事請負契約の締結について  
(小方小・中学校建設工事  
電気設備工事)

●平成23年度大竹市一般会計補正予算(第2号)

**【反対討論】**

「大願寺山への学校移転と不透明な宅地開発で市民負担を増大させること。子どもたちに安心して安全な教育施設の提供に、大きな懸念を表明し反対とする。」

「学校の危機管理、子ども本来の教育環境、安全問題が軽く扱われている。何より、皆さんの声を細かく吸い上げて行政に活かすべき。」

**【賛成討論】**

「子どもたちの安全面など宿題を残しているが、学校を大願寺造成地に建設することは設備の安全化から言えば申し分ないこと。」

「今4議案では、第五次大竹市総合計画の基本構想、平成23年度予算を可決した重みを認識しなければならぬ。本市の目玉としなければならぬ事業。その使命がある。」

本会議で採決の結果  
賛成多数で可決



小方小・中学校建設予定地(平成23年10月撮影)

生活環境委員会に  
付託された議案

●大竹市税条例等の一部改正について

- ・悪質な不申告者の罰則規定の強化
- ・寄附金税額控除の適用下限額の引き下げ
- ・東日本大震災の被災者を支援するための税負担の軽減措置

Q 気づかないうちに、不申告の状況になっている場合もあると思う。申告の必要な市民に対しての周知、不申告の確認の方法について問う。

A 償却資産の場合は、前年度の申告や法人設立届けを踏まえて申告の案内を発送し、それでも申告がされていない場合には、再度文書にて案内を発送している。市民税の場合は、広報2月号で周知し、従来から申告の必要な方には2月と5月にハガキを郵送している。

Q 悪質な不申告とは。

A 一般的には正当な理由がないにも関わらず申告書を提出しない場合である。

●災害甲斐金の支給等に関する条例の一部改正について

※2議案について  
採決の結果 原案どおり可決

●平成22年度大竹市水道事業会計決算の認定について

Q 水道管の約20%が耐用年数を超えて更新の時期に入っている。今後10年間の老朽管更新の費用について問う。

A 現在赤水対策の中で部分改築更新を行っている。今後は計画的に取り組んでいきたい。更新費用については、水道ビジョンの中で11年間の建設改良費の金額を掲載している。この金額の投資計画の中に老朽管更新費用を含んでいる。

Q 決算を踏まえて水道料金、県用水受水単価値下げ交渉について問う。

A 水道料金については、平成26年度に経常収支が赤字になると見込んでいる。その場合25年度に料金値上

げについて議会との相談になると考える。

県用水単価の値下げ交渉の結果は、変更なしとなった。県用水施設への更新費用を少なくして、受水費の減少に努める。

●平成22年度大竹市工業用水道事業会計決算の認定について

Q 企業の円高対策により、使用料への影響について問う。

A 一定の契約水量を企業と結んでいる為、景気の下況下で使用量が減少した場合でも料金への影響はない。

Q 市内の企業が海外移転等で撤退した場合の工業用水の契約について問う。

A 契約の中に撤退した場合については定めていない。仮にその状況になれば、話し合いになると考える。

Q 契約期間が数年で満了となる企業との間に、契約後の水の利用について双方で協議をしているのか。ま

た、余っている水の海外ビジネス展開について問う。

A 継続使用については、特化した話はしていない。他の話をする中でも、今後水の需要がのびるような話はない。海外ビジネス展開については、県・大竹市・民間で勉強会を昨年立ち上げており、この中で大竹市の工業用水を海外に売却できないかという話をしている。

●平成22年度大竹市公共下水道事業会計決算の認定について

Q これから先、メンテナンスが増加し、企業債の借入が多くなるがこれらについて問う。

A 過去から現在にかけて色々な施設の改修を行っている。その場合、補助金以外は企業債で賄っている。施設の改修費用が高額であり、償還金の累計が大きく占めている。

Q 決算の数字から料金値上げについて問う。

A 処理場を包括委託した関係で年

間約3千万円の経費が節減できており、現在は値上げの必要はないと考  
える。

※事業会計の3議案について

採決の結果  
原案どおり認定



本会議で採決の結果  
原案のとおり可決及び認定



大竹市水道ビジョン

請願・陳情・意見書

●「30人以下学級実現、義務教育  
費国庫負担制度拡充」を求め  
る意見書採択について

—採択—

請願者

連合広島大竹・廿日市地域協議会

議長 堀谷俊志氏外1名

「日本はOECD諸国に比べて、1  
学級当たりの児童生徒数や教員1人  
当たりの児童数が多くなっている。  
一人ひとりの子どもに丁寧な対応を  
行うため、ひとクラスの学級規模を  
引き下げる必要がある、文部科学省  
が実施した「今後の学級編成及び教  
職員定数に関する国民からの意見募  
集」では、保護者も30人以下学級を  
望んでいる。また、三位一体改革に  
より義務教育費国庫負担制度の国負  
担割合は3分の1に引き下げられ、  
自治体財政を圧迫している。  
将来を担い、社会の基盤づくりにつ  
ながる子どもたちへの教育は極めて  
重要で、未来への先行投資として、  
子どもや若者の学びを切れ目なく支  
援し、人材育成・創出から雇用・就  
業の拡大につなげる必要があります。  
よって意見書を関係大臣あてに  
送付してほしい。」

第3回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案番号	議案など	西川	大井	網谷	藤井	乃美	児玉	北林	山崎	細川	日域	上野	寺岡	原田	二階	田中	山本	審議結果
		健三	渉	芳孝	馨	晴一	朋也	隆	年一	雅子	究	克己	公章	博	堂博	実穂	孝三	
議案第46号	平成23年度大竹市一般会計補正予算 (第1号)	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	工事請負契約の締結について（小方 小・中学校建設工事（建築主体工 事））	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第48号	工事請負契約の締結について（小方 小・中学校建設工事（機械設備工 事））	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第49号	工事請負契約の締結について（小方 小・中学校建設工事（電気設備工 事））	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第50号	平成23年度大竹市一般会計補正予算 (第2号)	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 —:議長 ○:賛成 ●:賛成でない